

グローバル環境変化を踏まえた我が国の立地環境整備のあり方等に関する 検討会の開催について

令和8年1月9日
経済産業政策局

1. 趣旨

地政学リスクやコストの上昇等を勘案した企業のグローバルサプライチェーン見直しの動きが進展。また、各国は国内投資の加速に向けて積極的な支援策を講じている。

他方で、日本における投資については、コスト、人材・用地確保の困難さ等の課題が指摘されており、投資を加速していくには、我が国の立地環境について、課題を精査し、必要な施策を講じていく必要がある。

上記問題意識の下、グローバル環境変化を踏まえた我が国の立地環境整備のあり方等に関する検討会を開催する。

2. 主要な検討項目

(1) 我が国の立地環境上の課題と対応の方向性

日本の立地環境について、海外主要拠点との比較分析等を行いつつ、課題の整理や対応の方向性等について検討を行う。

<比較分析・議論項目（例）>

- ①コスト（物価、税制等） ②賃金・人材確保 ③用地確保
④電気、水等のインフラ ⑤規制 ⑥サプライヤーの集積 等

(2) サプライチェーン見直しに伴う課題と対応の方向性

地政学リスク、継続する円安、米国関税等を踏まえたグローバルサプライチェーンの見直し、特に、日本企業の国内回帰について動向分析を行い、課題の整理や対応の方向性について検討を行う。

3. 事務局

本検討会に係る事務は、経済産業省経済産業政策局投資促進課が行う。